

# 遊覧自動車によるハイキングツアーのチラシ

昭和 10(1935)年

今回ご紹介するのは、ヤナセ遊覧自動車商会在主催する、初春ハイキングツアーのチラシ「初春！処女ハイキング！！」です。ヤナセ遊覧自動車は東京市麹町区(現東京都千代田区)にあった会社で、高尾山や伊香保、伊豆温泉など関東各県及び静岡県等の観光地へ向かうツアーなどを運行していました。同社の営業案内によると、飯能を目的地としたツアーとしては天覧山へ向かうコースが設定されていたようです。

遊覧自動車とは、今日でいう観光バスのようなものです。大正末から昭和初年ごろに各地で始められるとまたたく間に好評を博し、昭和 8~10(1933~35)年ごろ最盛期を迎えました。人気が出た理由の 1 つに、都市部からあらゆる観光地へ直接連れて行ってもらえるから、というのがありました。既存の交通機関にとってこれは大きな打撃となってしまいました。昭和 10、11(1935、36)年に出版された東京都の都市交通統計資料では、対策が問題視されている旨が記されています。

さて、チラシのツアーでは東京から西吾野駅近くの山崎まで遊覧自動車で行き、そこから子ノ権現へ登って豆口峠を通り、上名栗の新館までハイキングをし、また遊覧自動車で東京へ帰る行程が企画されています。この道程は吾野地区と名栗地区を結ぶハイキングコースの 1 つとして現在も多くのハイカーに親しまれていますが、当時から人気のルートであったことがうかがえます。(柏木正之家文書 180)

